

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラスキッズ大分ルーム		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 9日		～ 2025年 12月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36人	(回答者数) 24人
○従業者評価実施期間	2025年 11月 18日		～ 2025年 11月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者一人ひとりに合わせて、「できる」こと「にがて」なことを保護者と共通理解し、個別療育と小集団療育を組合せながら支援提供している	個別療育と小集団療育を行い、本人の状況を保護者と確認しながら「できる」ことを伸ばし、「苦手」なことにも挑戦することで、就学前に必要なスキルを身に付ける目標設定をしている。	園や関係機関との情報共有も密にし、本人のできることを更に伸ばしていく支援を提供する。
2	通所毎に保護者とフィードバック時間を設け、常に園や家庭等での様子や困り事等の情報共有を実施している。	保護者からの視点と支援者からの視点を共有しながら、お子様に最適な支援を提供し、ステップアップを目指している。また、保護者同意を得たうえで、通園する担任の先生方との情報共有も行っている。	利用する園や支援機関との関係性を深め、密な情報共有を行い、支援に取り組んでいく。
3	同一法人に放課後等デイサービスの事業所があるので、進学の際の環境の変化を抑えることができるよう、情報の共有や見守り体制も強化している。	就学することで環境の変化が大きいため、本人が安心して通所できる居場所の確保の観点から、詳細な情報共有と職員間の連携を保つよう取組んでいる。	事業所間連携を強化し、児童発達支援を退所後も、本人の成長状況や保護者との関係性を継続していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職員（PT/OT/ST）の配置がなく、専門的支援の提供ができていない。	専門職員の配置がない。	医療機関での発達検査等の情報共有を保護者に依頼し、専門家の助言をもらいながら対応していく。
2	同一時間での利用がある保護者同士の交流はあるが、保護者向けのイベント開催ができていない。	保護者向けのイベントを企画していない	保護者ニーズを確認しながら、保護者が必要とする会の開催検討やオンラインセミナー等の情報提供を行っていく。
3	施設内の感染対策等の換気が十分にできていない。	施設内換気設備（扉・窓）に限りがあるため、感染拡大防止対策の自然換気（空気循環等）が不十分。	感染時期には、空気清浄機、サーキュレーター等の電気製品を利用し、空気循環と徹底的な消毒管理を実施する。